

遵守計画の色分けバージョンに関する注釈

遵守計画の広範な再構成によって、一部の者にとって当該計画の変更履歴バージョンを使用して変更箇所を確認するのが困難となっている。

メンバーがこれを審議するためのよりシンプルな文書を提供するべく、コンサルタントは、遵守計画の色分けバージョン（別紙）を作成した。かかるバージョンのテキストは、下記のとおり3通りに色分けされている。

- 緑－変更なし（すなわち、8月の特別会合に提出された遵守計画のバージョンのまま）
- 黄色－採択された CCSBT 戦略計画のテキストを実質的に使用
- 青－新規

この色分けは、単に、会合参加者が変更箇所を確認するのに役立つものであり、また新しいテキストがどこから来たのかを示す指針となるものである。色分けは、正しくないことに留意する必要がある。例えば、以下のとおり。

- 黄色に塗られている一部のテキストについては、戦略計画のテキストと全くの同一ではない。この場合、遵守計画の文書に馴染むよう戦略計画のテキストの語彙を変えているが、当該テキストの趣旨は戦略計画のものと同一である。
- 当初の遵守計画と戦略計画の両方にテキストが存在する場合。このような場合には、通常、遵守計画を戦略計画に合わせていることを強調するために、黄色でハイライトしている。

多くの場合、新しい（青）テキストは、新しい構想を示すものではなく、特別会合における遵守委員会作業部会（CCWG）からのフィードバックや、CCSBT のどこかで議論されたものに起因するものである。例えば、遵守計画の 10 ページ目の全ての内容が青く塗られているが、このほとんど全てが CCSBT17 報告書又は CCWG からのフィードバックを反映したものである。

最後に、この遵守計画の色分けバージョンのテキストは、1つの例外を除き、CC6 に提出されている「クリーン」バージョンと同じである。それは、色分けの問題（この文書に使用している色が原因）であり、これは 10 ページにおいて変更履歴として記録してある。

CCSBT 遵守計画

目的

遵守計画は、2011 年 8 月に承認された CCSBT 戦略計画を支持する。遵守計画は、特にカテゴリーCに関するビジョンを支持する。

「メンバーは、委員会を通じて SBT の管理に積極的に参加し、

その決定を実施する。」

遵守計画の目的は、委員会及びそのメンバーに対して、それらの CCSBT 保存管理措置に対する遵守を向上させ、将来的にその完全遵守を達成させる枠組み示すことである。

遵守計画は、優先的な遵守リスクに取り組むための「3 年間の行動計画」を含んでいる。当該行動計画は、毎年レビューされ、追認されるか又は更新される。したがって、当該計画は、「生きた」文書となり、重点項目は時間とともに変更される。

この文書において、メンバーには、拡大委員会の協力的非加盟国（CNM）が含まれ、全ての委員会には拡大委員会も含まれる。

構成

この計画は、以下に掲げる 5 つのパートから構成されている。

1. ゴール及び戦略
2. 遵守に関する原則
3. 役割及び責任
4. 計画実施及びレビュー
5. 「3 年間の行動計画」（別添）

パート 1: ゴール及び戦略

ゴール

CCSBT 戦略計画は、メンバーによる参加及び実施に関連する 4 つのゴールを特定している（カテゴリーC）：

- **監視、管理及び取締り（ゴール8）**

統合され、目標を定めた、並びに費用対効果の高い監視、管理及び取締り措置を委員会のゴールにかなうよう稼動する

- **メンバーの義務（ゴール9）**

全てのメンバーが CCSBT の規則を遵守する

- **途上国支援（ゴール10）**

途上国及び協力的非加盟国が委員会の管理措置及び他の要件を遵守することができる

- **CCSBT への参加（ゴール11）**

SBT を漁獲する全ての国並びに地域的な経済統合のための機関(REIO)及び主体を SBT の管理に協力させる。

寄港国及び市場国に対して CCSBT の目的及び管理に関する取決めに協力するように要請する。

戦略

戦略は、これらのゴールを達成するために提案される手段であり、それぞれのゴールに対応した番号を付している。

下記の戦略は、CCSBT 戦略計画において規定された戦略に基づいている（14-15 ページ）。一部の戦略については、タイトルに修正を加えており、記述も詳しくしている。戦略 8.4 は、非メンバーの IUU 漁業の監視を明示的に網羅できるよう拡大している。戦略 8.7（調査）は、新しいものである。

8.1 合意された MCS 措置をメンバーが実行する

遵守委員会は、メンバーによる CCSBT 保存管理措置の実施を監視する。これには、保存管理措置の包括的なリストの策定、及び当該措置に基づくメンバーの義務に対する各メンバーからの定期報告も含まれる。メンバーからの報告書は、遵守委員会によって分析され、メンバーは当該報告書に関する質問及びフィードバックを受ける。

遵守委員会は、遵守政策を策定¹し、そして定期的にこれをレビューする。かかる政策は、メンバーの義務及び関連する履行要件を明記し、これらの義務に対するメ

¹ 遵守政策案は、最低履行要件（CP1）、監査（CP2）、是正措置（CP3）及び情報共有（CP4）に関するものが作成されている。

メンバーの遂行状況の監視方法に関する具体的な情報をメンバーに提供するものである。遵守政策は、委員会の合意によって採択される。

8.2 MCS 戦略を策定し実施する

新たに発生した遵守リスクに対応するため、又は効果のない若しくは効率の悪い措置の代わりとするため、新規の措置が必要となる可能性がある。遵守委員会は、委員会に勧告する措置や義務を策定する際は、リスク管理の手法を採用する。これには、以下に掲げるものが含まれる。

- a) 実施中の MCS 措置と必要となる改善又は追加的な措置との間のギャップを特定する
- b) 必要な変更を実施するための計画を策定する

保存管理措置の変更又は追加に関する勧告には、履行要件も含まれる。

8.3 メンバーの遵守強化

漁場から市場までの SBT 漁業の各段階（転載、蓄養、貿易等）における十分な遵守を確保すべく、メンバーの取組を強化する。

遵守委員会は、メンバーが効果的な MCS 制度及び費用対効果の高い遵守業務の遂行を計画及び実施するのを支援するための政策及び指針を策定する。かかる政策及び指針は、メンバーの義務に基づくものとし、義務を遂行しないリスクを回避、改善又は緩和するための最善の方法に焦点を合わせるものとする。

8.4 SBT 市場の拡大の監視

委員会及びメンバーは、非メンバーによる SBT 漁業及び SBT 市場の拡大を積極的に監視する。これには、SBT に関する貿易データの定期的なレビューも含まれる。

CCSBT の義務に反する全ての SBT 漁業を支援する非メンバー及び寄港国は、CCSBT の義務に協力するよう要請される。IUU SBT 漁業への対抗措置が実施され、これには国際法と整合的な貿易及び市場措置の適用が含まれる。

8.5 遵守に関するデータの交換

遵守委員会は、MCS に関する情報を、メンバー間で、及び寄港国と、交換及び共有することを促進するための政策を策定する。これには、必要となるデータの機密性に関する規則の実施も含まれる。

遵守委員会は、メンバー、その他の関係団体（寄港国、市場国、NGO 等）、及び一般の者との間の情報共有を促進する。これには、情報共有を障害するものの除去、情報共有の経費を圧縮するための制度の設立、及び委員会の情報へのオープンアクセスを最大化する政策の採択、に積極的に取り組むことが含まれる。

8.6 事務局による MCS 業務

事務局は、遵守委員会に対して、遵守政策及びプロセスに関する助言を提供し、共有される遵守業務の指定及び購入を支援する。

これには、以下の事項が含まれる。

- a) 提出された MCS データを分析し、かかるデータの傾向を毎年報告する
- b) 事務局に提出されたデータに基づき既存の MCS 措置の有効性を評価する
- c) CCSBT による遵守に関する取組を管理及び監視する
- d) 遵守制度及び計画（例えば漁獲証明及び報告）の管理

かかる業務を提供するため、専任のコンプライアンス・オフィサーを事務局の職員として 1 名採用することを検討する。

予算上の決定を前提として、事務局は、委員会に対して、MCS に関する業務を提供することができるが、これは、費用対効果が高く、かつ事務局の中心的な任務である委員会へのサポート、円滑化及び情報管理を阻害しない形で実施することが可能な場合とする。かかる業務は、専任職員又は業務契約を通じて実施することができる。

8.7 調査及び開発

遵守委員会は、MCS 制度の実施を促進するべく、新しい技術及び手法に関する調査の開始を勧告する。有望な技術については、試験的に実施し、その実用性及び費用対効果について評価する。当該試験のための負担割合は、遵守に関するリスク及び便益に基づくものでなければならない。試験のための資金拠出については、技術及びその適用に応じて、メンバーが個別に又は協力して行うことができる。

9.1 メンバーの MCS 制度及びプロセスの監査

保存管理措置及び CCSBT に関連する国際的な義務に対するメンバーの履行、取締り及び遵守に対して、定期的に監査が行われる。

遵守委員会は、メンバーに対して、当該メンバーの SBT に関連する MCS 制度に対して独立的に監査が行われるよう要請する。かかる監査は、メンバーが CCSBT の義務を遂行するために実施している制度及びプロセスに焦点を合わせる。監査報告書は、全てのメンバーに公表される。かかる監査の目的は、メンバーに対して、当該メンバーの MCS 制度の妥当性を保証するものであり、また改善分野を特定し、そして委員会に対して当該メンバーは自らの義務を果たしていることを保証するものである。

9.2 是正措置及び改善

遵守委員会は、公平で、透明性が高く、及び差別のない是正措置（罰則、インセンティブ等）を策定し、CCSBTの義務の遵守を促進する。

メンバーが主要な保存管理措置及び義務（特に漁獲管理措置及びMCS措置）を遵守していないことについて、これを信じるに足る合理的な理由があった場合には、遵守委員会は、調査を行うよう勧告する。調査結果は、委員会によって検討される。

委員会は、CCSBTの義務を遵守しないメンバーに適用される是正措置及び/又は改善措置の種類及び程度を検討する。具体的な状況及び非遵守の程度に応じて、勧告される是正措置及び改善措置には、以下に掲げる事項を含めることができる。

- 遵守に関する支援
- 過剰漁獲の返済
- 漁獲枠の削減
- 公表
- 監視措置の強化（検査、オブザーバー等）
- 貿易又は市場制限（国際法と整合的な形で）

10.1 委員会の要件を実施する途上国への支援

遵守委員会は、委員会がメンバーに技術及び資金を提供し、当該メンバーが自らの義務を遂行するために漁業MCS制度の開発及び実施を行うのを支援するよう勧告する。支援には、以下に掲げる項目を含めることができる。

- 教育、訓練及び特別業務
- 技術コンサルタント
- 業務の共有
- 財政支援

委員会は、途上国のメンバーとともに作業を行い、以下の事項を実施する。

- a) 途上国によるCCSBTの義務の遂行を確保するためには、いかなる分野に対する支援が有益であるか特定する
- b) 支援の提供方法について特定する（例：技術向上、派遣、ワークショップなど）
- c) 途上国が委員会の要件を実施するのを支援する計画を策定及び実施する

11.1 包括的な協力

CCSBTの管理措置の広範な実施を促すため、遵守委員会は、SBTに関係する重要な寄港国又は市場国となっている又はなりそうな非メンバー国を特定する。このような国は委員会に通報され、委員会はかかる国々に対してCCSBTの管理措置への協力を要請するかどうかについて検討する。

パート 2：遵守に関する原則

この計画を実施する際には、以下に掲げる原則が決定のための指針となる。

遵守要請：メンバーは、効果的な遵守制度の実施を通じて、CCSBT の義務を遵守するよう要請されなければならない。

抑止策：IUU 漁業を発見し、処罰するための効果的な抑止策が用いられなければならない。

責任：メンバーは、世間に対して、自身の CCSBT 上の義務を果たしていることの説明責任を有しなければならない。

公開及び透明性：

a) 遵守に関する情報が、全てのメンバーによって利用可能な状態でなければならない。

b) 全てのメンバーが議論に参加しなければならない。

c) 全ての遵守報告書は、可能な限り直ちに公表されなければならない（ただし、CCSBT 手続規則の規則 10 に従うことを条件とする）。

協力及び共同活動：メンバーは、共同活動等を通じて協力し、効果的な監視を推進し、かつ遵守のレベルを向上させなければならない。

インセンティブ：インセンティブによって、メンバーによる遵守制度の監視及び改善が奨励されなければならない。

効率性：遵守義務は、費用対効果があるものでなければならず、メンバーに対して不当な経費を負担させてはならない。

リスク管理：保存管理措置並びにそれを支援する制度及びプロセスの変更又は追加の決定を行う際には、リスク管理の手法が適用されなければならない。

パート 3：役割及び責任

メンバー

- 委員会の政策、企画及び保存管理措置の策定に関連する意思決定プロセスに積極的に参加する。
- 義務を遂行し、かつ委員会によって合意された措置を確実に遵守する。
- 効果的な漁業MCS制度を講じ、そして自国の船籍を持つ船舶及び許可蓄養場がメンバーの規則²に従うことを確保する。
- 遵守委員会に対して、措置及び義務の実施、並びに措置及び義務を効果的に遵守するために改善が必要な全ての分野を報告する。
- 発見された全ての重大な非遵守及び実施された改善措置について報告する。
- 委員会が合意した全ての是正措置又は改善措置を実施する。

委員会

- 遵守計画及び「3年間の行動計画」を承認する。
- 全ての是正措置及び改善措置を決定する。
- 遵守委員会からの勧告を検討し、最終決定を下す。

遵守委員会

- 政策に関する枠組、指針及び技術的支援を勧告し、メンバーによるCCSBT措置の効果的かつ一貫した実施を促進する。
- 委員会の措置に対するメンバーの履行状況を監視する。
- 年次遵守リスク評価を実施する。
- 遵守に関するリスクの特定に基づき、「3年間の行動計画」（別添1）をレビューし、更新を勧告する。
- 遵守リスクに対応するべくCCSBTの義務の追加又はその修正を勧告する。
- 監査報告をレビューし、遵守に関する監査を勧告する。
- 疑義のある重大な非遵守に対する調査を勧告し、必要な場合には、あらゆる是正措置又は改善について勧告する。

事務局

- メンバー間の建設的な作業の協力関係を促進する。
- 包括的で、全てのメンバーを含む形で、かつ透明性のある意思決定プロセスを推進する。
- メンバー及び委員会の任務及び責任に寄与する情報を管理及び配信する。
- 教育、特別及び専門業務の実施を推進し、委員会の措置の効果的な実施を支援する。
- 遵守委員会のための差異報告書を作成する。
- 遵守委員会に対して、遵守/MCSに関する政策、計画、指針及び業務についての助言を行う。

² 「規則」には、法令、許認可の条件を含む。

パート 4 : 計画の実施及びレビュー

実施責任

遵守委員会は、委員会の指揮及び監督の下、計画の実施の管理についての責任を有し、これには、以下の事項が含まれる。

- 年次遵守リスク評価
- 「3年間の行動計画」の年次レビュー及び更新

遵守委員会は、委員会によって検討され決定されるよう、行動計画、新しい義務、政策、その他の行動に関する勧告を行う。

事務局は、遵守委員会及び委員会の両方に対して、技術的及び事務的な支援を行うとともに遵守政策に関する助言を行う。

レビュー

CCSBT 戦略計画がレビューされた場合には、委員会は直ちに遵守計画をレビューする。「3年間の行動計画」（別添 1）は、遵守委員会によって毎年レビューされる。

承認

この計画は、委員会によって承認された。

委員会議長

日付

別添 1. 3 年間の行動計画（2012-2014 年）

この別添は、各ゴール及び戦略に基づく今後 3 年間の行動を定めている。青赤字の番号は、CCSBT 戦略計画中の戦略において使用されている番号である。

2010 年 10 月の拡大委員会（EC）は、遵守委員会は、遵守委員会がリスク評価に基づいて特定する具体的な遵守に関するリスク管理を特に重視することに合意した。具体的な遵守に関するリスクとは、以下のとおり。

- 物理的な確認及び適切な検証を重視したCDSの効果的な実施。
- 転載監視計画の改善。これには、オブザーバー配乗要求を伴うSBTの転載に関する事前通報、及びSBTの申告がない場合においてもSBTの転載を発見することができるよう全てのオブザーバーを訓練することが含まれる。
- 他の種（SBT以外）として水揚げされるSBT。
- SBT市場の拡大。
- 蓄養部門における漁獲量の監視。
- 混獲量及び投棄量が国別配分に含まれた形で報告されていないこと。
- 寄港国に情報提供するためのより良いシステム。これにより、寄港国が改善された方法によってSBTに関する活動を監視するのを支援する。

2011 年 8 月におけるメンバーからのフィードバックに基づき、具体的な遵守に関するリスクが優先付けされた。最初の期間（2012 年から 2014 年まで）において、この行動計画は、以下の優先事項に焦点を合わせる。

- 国別配分の遵守
- CDS の実施
- IUU 漁業
- 洋上転載

現在の優先事項に直接関連しない行動は、この期間における活動として表記していない。

<p>ゴール8 - 監視、管理及び取締り</p> <p>統合され、目標を定めた、並びに費用対効果の高い監視、管理及び取締り措置を委員会のゴールにかなうよう稼働する</p>					
戦略	優先行動	2012 年	2013 年	2014 年	
<p>8.1 合意された MCS 措置 を実行する</p> <p>8.1 (i)</p>	8.1.1 保存管理措置に関する合意済みのリストを作成する（実行済み）。				
	8.1.2 最低履行要件（遵守政策 1）を策定及び採択する。				
	- 国別配分の遵守				
	- CDS の実施				
	- 転載				
<p>8.2 MCS 戦略を策定し実施 する</p> <p>8.1 (ii)</p>	8.1.3 メンバーが義務及び最低履行要件の履行について報告するための修正しかつ統一したテンプレートを作成する。				
	8.1.4 履行報告制度を実施する。これには、メンバーからの履行報告書及び事務局からの差異報告書の検討が含まれる。				
	8.2.1 遵守に関するリスク評価の枠組を作成し、メンバー及び遵守委員会による遵守/MCS 計画策定及び優先付けのための、一貫性がありかつ協調的な取組を推進する。				
<p>8.3 遵守を強化する（MCS 制度及び業務）</p> <p>8.1 (iii)</p>	8.2.2 措置及び義務をレビュー及び合理化し、不必要な遵守上の費用を削減する。				
	8.3.1 以下に掲げる事項についての費用及び便益を調査する。				
	- 他の RFMO との IUU 船舶リストの共有				
	- メンバー及び RFMO における VMS の合理化				
	- RFMO における共通の船舶登録の共有				
	- 他の RFMO との CDS 合理化				
	8.3.2 寄港国の義務の効果的な実施方法を評価する。				
	8.3.3 既存の二国間協定及び国際的なネットワーク（国際的な監視、管理、取締りネットワーク等）を土台として、メンバーが自国船舶の履行状況及び全ての IUU 漁業をより適切に監視し、また非遵守の調査を行うことができるようにする。				

ゴール8 - 監視、管理及び取締り				
統合され、目標を定めた、並びに費用対効果の高い監視、管理及び取締り措置を委員会のゴールにかなうよう稼動する				
8.4 市場の拡大を監視する 8.1 (iv)	8.4.1 新興 SBT 市場を対象とした組織的な監視体制を導入する。			
	8.4.2 SBT 貿易データをレビューする。			
	8.4.3 IUU SBT 漁業を対象とした組織的な監視及び取締り体制を導入する。			
	8.4.4 非メンバーである寄港国及び市場国からの支持及び支援を要請し、IUU SBT 漁業対策を講じる			
8.5 遵守に関するデータ共有する 8.1 (v)	8.5.1 メンバー及び寄港国と標準化された MCS 情報を共有することを決定する。			
8.6 事務局による MCS 業務 8.1 (vi)	8.6.1 MCS データを分析し、傾向を報告する（毎年）。			
	8.6.2 提出されたデータに基づき MCS 措置の有効性を評価する。			
	8.6.3 メンバーから提出されたオブザーバーデータを分析する。			
	8.6.4 全ての転載オブザーバーが CCSBT の義務についての訓練を受けていることを確保する (SBT がある場合)			
8.7 調査 & 開発	8.7.1 オブザーバー、証明者、確認者が SBT（特に 1 次処理されたもの）を同定するのを支援するための新技術及び設備に関する調査及び開発を行う。			

ゴール9—メンバーの義務 全てのメンバーは、CCSBT の規則を遵守する。					
戦略	優先行動	2012 年	2013 年	2014 年	
9.1 メンバーの制度及びプロセスを監査する 9.1 (i)	9.1.1 CCSBT 監査員を任命する。				
	9.1.2 MCS 制度の監査が、国別配分を遵守することを確保するものとなるよう要請する。				
	9.1.3 監査報告を受け、結果を分析し、そして適切な措置を講じる。				
9.2 是正措置及び改善 9.1 (ii)	9.2.1 疑われる非遵守を調査するための手続きを策定する。				
	9.2.2 必要に応じて疑惑を調査する。				

ゴール10: 途上国支援 途上国のメンバー及び協力的非加盟国は、委員会の管理措置及びその他の要件を遵守することができる。					
戦略	優先行動	2012 年	2013 年	2014 年	
10.1 遵守支援 10.1 (i)	10.1.1 インドネシアに対して MCS 支援計画を提供する。				
	10.1.2 MCS 制度のベストプラクティスを特定し、共有する。				

ゴール11: CCSBT への参加 寄港国及び市場国が CCSBT の目的及び管理取決めに協力するよう要請する。					
戦略	優先行動	2012 年	2013 年	2014 年	
11.1 包括的な協力 11.2	11.1.1 協力要請を行う必要がある非メンバーである寄港国及び市場国を特定するべく、データを分析する。				
	11.1.2 当該国を委員会に通報する。				